

芸術ワーキンググループ

芸術ワーキンググループにおける検討事項

小・中・高を通じ、音楽科、芸術科（音楽）において育成すべき
資質・能力の整理（検討のたたき台）

音楽科、芸術科（音楽）における学習のプロセス（イメージ案）

音楽科、芸術科（音楽）に関する現状について

小・中・高を通じ、図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）
において、育成すべき資質・能力の整理（検討のたたき台）

図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）における学習のプロ
セス（イメージ案）

図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）に関する現状について

芸術科（書道）において育成すべき資質・能力の整理（検討のたたき台）

芸術科（書道）における学習のプロセス（イメージ案）

芸術科（書道）に関する現状について

芸術ワーキンググループにおける検討事項

1. 芸術系科目を通じて育成すべき資質・能力について
 - ・芸術系科目を学ぶ本質的な意義や他教科との関連性について
 - ・三つの柱に沿った育成すべき資質・能力の明確化について
 -) 何を知っているか、何ができるか(個別の知識・技能)
 -) 知っていること・できることをどう使うか(思考力・判断力・表現力等)
 -) どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(学びに向かう力、人間性など)
 - ・幼稚園・小学校・中学校・高等学校を通じた芸術系科目において育成すべき資質・能力の系統性について
 - ・芸術系科目において育成すべき資質・能力と指導内容との関係について

2. アクティブ・ラーニングの三つの視点()を踏まえた、資質・能力の育成のために重視すべき芸術系科目の指導等の改善充実の在り方について

3. 資質・能力の育成のために重視すべき芸術系科目の評価の在り方について

4. 必要な支援(特別支援教育の観点から必要な支援等を含む) 条件整備等について

アクティブ・ラーニングの三つの視点(企画特別部会「論点整理」18ページ参照)

-) 習得・活用・探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置いた深い学びの過程が実現できているかどうか。
-) 他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める、対話的な学びの過程が実現できているかどうか。
-) 子供たちが見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる、主体的な学びの過程が実現できているかどうか。

小・中・高を通じ、音楽科、芸術科（音楽）において 育成すべき資質・能力の整理（検討のたたき台）

平成28年2月23日
教育課程部会
芸術ワーキンググループ
(第5回)資料3-1

	<p>個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)</p>	<p>思考力・判断力・表現力等 教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか)</p>	<p>学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わり よりよい人生を送るか)</p>
<p>小学校 音楽</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>音符、休符、記号や音楽に関わる用語の意味や働きを理解したり、音楽的な特徴や構造と曲想との関わりについて理解したりすること</u> など ・ 聴唱や聴奏、視唱や視奏、声や音を合わせるなど、自分で音楽表現をしたり友達と一緒に音楽表現をしたりするために必要な技能や、自分の思いや意図を音楽で表現するために必要な技能 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>音楽に対する感性を働かせ、音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、知識や技能を得たり活用したりして、音楽表現を創意工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもつ、音楽表現の創造に関する能力</u> など ・ <u>音楽に対する感性を働かせ、音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどの感じ取りながら、知識を得たり活用したりして、楽曲の特徴や演奏のよさなどを考え味わう、音楽のよさなどを見いだす能力</u> など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協働して音楽活動する喜び ・ 音楽への関心・意欲・態度 ・ 感性 ・ 音楽を愛好する心情 ・ 我が国や諸外国の音楽に親しみ、それらを大切にしようとする態度 ・ 生活の中の様々な音や音楽への関心 ・ 音楽経験を生活に生かし、生活を明るく潤いのあるものにする態度 ・ 情操 など

下線部は、〔共通事項〕と関連する箇所

小・中・高を通じ、音楽科、芸術科（音楽）において 育成すべき資質・能力の整理（検討のたたき台）

	<p>個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)</p>	<p>思考力・判断力・表現力等 教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか)</p>	<p>学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わり よりよい人生を送るか)</p>
<p>中学校 音楽</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて、楽曲における働きと関わらせて理解したり、楽曲の背景や楽曲の構造と、曲想との関わり及びその多様性について理解したりすること</u> など ・ <u>自分の思いや意図を生かして音楽表現をするために必要な技能</u> など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>音楽に対する感性を働かせ、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知識や技能を得たり活用して、音楽表現を創意工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもつ、音楽表現の創造に関する能力</u> など ・ <u>音楽に対する感性を働かせ、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知識を得たり活用して、音楽を自分なりに解釈したり自分にとっての価値を考えたりしたことを基に、根拠をもって批評するなどして、音楽文化に対する理解を深め、よさや美しさを味わう、音楽の意味や価値の創造に関する能力</u> など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協働して音楽活動する喜び ・ 音楽への関心・意欲・態度 ・ 感性 ・ 音楽を愛好する心情 ・ 我が国の音楽文化に愛着をもつとともに、諸外国の音楽文化を尊重する態度 ・ 音環境への関心 ・ 音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度 ・ 情操 など

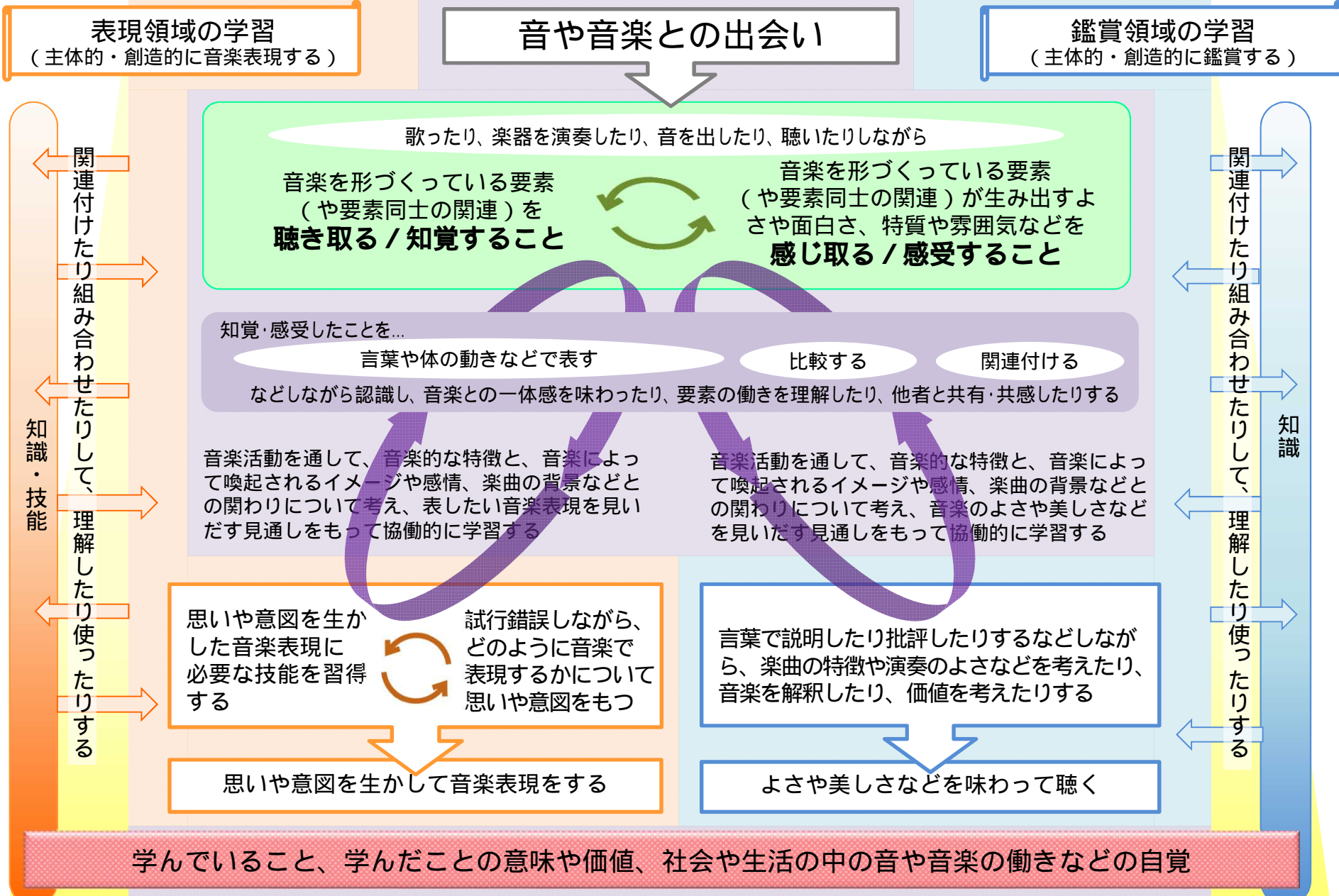
小・中・高を通じ、音楽科、芸術科（音楽）において 育成すべき資質・能力の整理（検討のたたき台）

	<p>個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)</p>	<p>思考力・判断力・表現力等 教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか)</p>	<p>学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わり よりよい人生を送るか)</p>
<p>高等学校 芸術 (音楽)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽表現上の働きと関わらせて理解したり、楽曲の文化的・歴史的背景や楽曲の構造と、曲想との関わり及びその多様性について理解したりすること</u> など ・ <u>自分の表現意図を生かして音楽表現をするために必要な技能</u> など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>感性を働かせ、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知識や技能を得たり活用して、音楽表現を創意工夫し、楽曲の背景などに関わらせながら表現意図をもつ、音楽表現の創造に関する能力</u> など ・ <u>感性を働かせ、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知識や技能を得たり活用して、音楽を自分なりに解釈したり自分や社会にとっての価値を考えたりしたことを基に、根拠をもって批評するなどして、芸術としての音楽や音楽文化に対する理解を深め、よさや美しさを味わう、音楽の意味や価値の創造に関する能力</u> など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>協働して音楽表現を創造したり鑑賞したりする態度</u> ・ <u>音楽への関心・意欲・態度</u> ・ <u>感性</u> ・ <u>生涯にわたり音楽を愛好する心情</u> ・ <u>我が国及び諸外国の音楽文化を尊重する態度</u> ・ <u>よりよい音環境を求める態度</u> ・ <u>音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにする態度</u> ・ <u>情操</u> など

下線部は、表現及び鑑賞に関する能力を育成する上で共通に必要なもの

音楽科、芸術科（音楽）における学習のプロセス（イメージ案）

平成28年2月23日
 教育課程部
 芸術ワーキンググループ
 （第5回）資料3-2



学んでいること、学んだことの意味や価値、社会や生活の中の音や音楽の働きなどの自覚

豊かな情操の育成

音楽に対する感性

現状と課題

【 】内は参考にしたデータ等

感性を働かせ、他者と協働しながら音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさや価値等を考えたりするなどして、創造的に表現したり鑑賞したりする力を育成することが求められている。

- ・音楽を聴いて楽曲の特徴を捉え言葉で適切に表すことや、音楽表現に対する思いや意図をもち言葉で適切に表すことなど、思考力・判断力・表現力等の育成に一部課題がある。【平成24年度小学校学習指導要領実施状況調査(国立教育政策研究所)】
- ・言語活動がやや目的化し、音楽表現そのものを高めることや、音楽のよさ等を味わって聴くことが十分でない傾向が見られる。また、子供の工夫した表現や、音楽を聴いて感じ取ったこと等について、子供の学習の充実に資するよう、適切に価値付けたり具体的にアドバイスをしたりすることが十分でない傾向が見られる。【教育課程の編成・実施に関する聴取資料(小・中・高)】
- ・「音楽の授業では、みんなで協力し、学び合っていますか」「歌ったり楽器を演奏したり音楽をつくったりするときに、自分はこう表したいという願いや考えをもつようにしていますか」という質問に肯定的な回答をした児童は、否定的な回答をした児童よりも、表現領域の思考力・判断力・表現力に関わる記述問題の通過率が10ポイント以上高い。【平成24年度小学校学習指導要領実施状況調査】

我が国や郷土の伝統音楽に親しみ、一層よさを味わえるようにしていくこと、生活や社会における音や音楽の働きや音楽文化についての関心や理解を深めていくことが求められている。

- ・世界各国の音楽の中から、我が国の音楽を聴き分けることについては、相当数の児童ができていますが、我が国の音楽の様々な特徴をとらえて聴くことには課題がある。【平成24年度小学校学習指導要領実施状況調査】
- ・日本のうた(唱歌やわらべうた、民謡など)の指導について、興味・関心のもちやすさ、身に付けやすさのいずれにおいても、学年が上がるにつれて肯定的に回答した教師の割合が減少し、第6学年の教師における肯定的な回答は5割以下だった。(興味・関心をもちやすい:第2学年78.8%、第4学年67.5%、第6学年46.0%、身に付けやすい:第2学年80.5%、第4学年67.5%、第6学年49.5%)【平成24年度小学校学習指導要領実施状況調査】
- ・「音楽の学習が好きだ」という質問に68.1%の児童が肯定的に回答したのに対し、「音楽を学習すれば、普段の生活や社会に出て役立つ」という質問に肯定的に回答した児童は、47.7%だった。【平成24年度小学校学習指導要領実施状況調査】
- ・音楽文化についての理解を深める学習については、教師が知識を教えることにとどまり、生徒が実感を伴って音楽文化の意味や価値を理解するまでには至っていない現状が見受けられる。【高等学校教育課程研究指定校の取組等より】

豊かな情操の育成を目指した小・中・高等学校修了時の児童生徒の姿 ～音楽科、芸術科（音楽）で育成すべき資質・能力～（検討のたたき台）

高等学校

【芸術科（音楽）】

【芸術科（音楽）】

【芸術科（音楽）】

豊かな感性や生涯にわたり音楽を愛好する心情が育っている。

創造的な表現と鑑賞の能力を働かせて、豊かに表現したり鑑賞したりすることができる。

例えば・・・
・音楽を形づくっている要素を知覚・感受し、根拠をもって音楽表現を生み出したり、音楽を聴いてそのよさや価値などについて批評するなどして味わって聴いたりすることができる。

・他者と協働して新たな価値を創造することができる。

など

生活や社会の中の音や音楽の働きや音楽文化について、深く理解し尊重するとともに、音楽文化の担い手としての意識をもっている。

例えば・・・
・生活や社会との関わりにおいて、TPOに応じた心地よい音環境を求める意識をもっている。

・音楽が、伝統や文化などの影響を受けて生み出されてきた意味や価値を理解することができる。

・音楽活動を通して、多様な音楽文化についての意味や価値を理解することができる。

など

を付した科目のうち、1科目を共通必修科目とする。

中学校

【音楽科】

豊かな感性や音楽を愛好する心情が育っている。

音楽活動の基礎的な能力を働かせて、豊かに表現したり鑑賞したりすることができる。

例えば・・・
・音楽を形づくっている要素の知覚と感受の関連を図り、音楽のよさや美しさなどについて自分の考えをもちながら、音楽表現を工夫したり、自分にとっての価値を明らかにして味わって聴いたりすることができる。

・他者と音や言葉による交流を通して考えを広げたり深めたりして、自分にとっての新たな価値を創造することができる。

など

生活の中の音や音楽の働きや、音楽文化について理解し、尊重している。

例えば・・・
・身の回りの音や音楽に関心を持ち、音環境に対する意識をもっている。

・我が国や郷土の伝統音楽を含む、世界の様々な音楽それぞれがもつよさや美しさを味わい、音楽の多様性を理解することができる。

・我が国で長く歌い継がれている歌曲のよさを感じ取りながら歌うことができる。

など

小学校

【音楽科】

感性や音楽を愛好する心情が育っている。

音楽活動の基礎的な能力を働かせて、表現したり鑑賞したりすることができる。

例えば・・・
・音楽を形づくっている要素を聴き取り感じ取りながら、こう表したいという思いや意図をもって表現したり、楽曲や演奏のよさを考え、味わって聴いたりすることができる。

・音や言葉によるコミュニケーションを図りながら、自分にとって価値のある創造的な音楽活動をすることができる。

など

生活の中の音や音楽や、我が国や諸外国の音楽に親しみ、それらを大切にしている。

例えば・・・
・生活の中の様々な音や音楽の特徴に気付くことができる。

・我が国や郷土の音楽及び諸外国の音楽など、いろいろな種類の音楽に関心を持ち、そのよさを味わうことができる。

・世代や地域を超えて親しまれている日本のうたに親しみ、曲にふさわしい歌い方で歌うことができる。

など

幼児教育

（教育課程部会幼児教育部会において、芸術ワーキンググループでの議論を踏まえ、幼児期に育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の明確化について審議）

・生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにもちながら、楽しく表現する。

・生活や遊びを通して感じたことや考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由にかいたり、つくったり、演じて遊んだりする。

・友達同士で互いに表現し合うことで、様々な表現の面白さに気付いたり、友達と一緒に表現する過程を楽しんだりする。

小・中・高を通じ、図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸） において、育成すべき資質・能力の整理（検討のたたき台）

平成28年2月23日
教育課程部会
芸術ワーキンググループ
(第5回)資料2-1

	<p>個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)</p>	<p>思考力・判断力・表現力等 教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか)</p>	<p>学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わり よりよい人生を送るか)</p>
<p>小学校 図画工作</p>	<p>・形や色などの造形的な特徴や、材料や用具の特徴、作品のことなどについての、造形的な創造活動を通じた理解。 など</p> <p>・感性や想像力、手や体全体の感覚などを働かせたり経験を生かしたりしながら、<u>形や色などの造形的な特徴を捉える</u>とともに<u>自分のイメージをもつ</u>などして、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫するなどの創造的な技能。 など</p>	<p>・感性や想像力、手や体全体の感覚などを働かせながら、<u>形や色などの造形的な特徴を捉える</u>とともに<u>自分のイメージをもつ</u>などして、表したいことを思い付いたり、形や色、用途などを考えたりすること。 など</p> <p>・感性や想像力、手や体全体の感覚などを働かせながら、<u>形や色などの造形的な特徴を捉える</u>とともに<u>自分のイメージをもつ</u>などして、自分たちの作品や美術作品などから表現の面白さを捉えたり、よさや美しさなどを感じ取ったりすること。 など</p>	<p>・つくりだす喜び</p> <p>・造形への関心・意欲・態度</p> <p>・感性</p> <p>・<u>形や色などによるコミュニケーション</u>を通して、生活や社会と主体的に関わる態度</p> <p>・情操 など</p>

下線部は、(共通事項)と関連する箇所

小・中・高を通じ、図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸） において、育成すべき資質・能力の整理（検討のたたき台）

	<p>個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)</p>	<p>思考力・判断力・表現力等 教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか)</p>	<p>学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わり よりよい人生を送るか)</p>
<p>中学校 美術</p>	<p>・<u>形や色彩，材料，光などの性質や，それらがもたらす感情などの特徴</u>について、創造活動における造形的な視点として理解したり，美術作品，文化遺産などについて造形的な視点から<u>作風</u>などを理解したりすること。</p> <p>など</p> <p>・<u>感性や造形感覚を働かせ，形や色彩などの表し方のコツをつかむことや，意図や自己の捉えたイメージなどに応じて形や色彩材料，用具の特性を生かした新たな表現方法の工夫</u>すること，制作の順序などを総合的に考えながら見通しをもって表すなどの<u>創造的な技能</u>。</p> <p>など</p>	<p>・<u>感性や想像力を働かせ，造形的な特徴などからイメージを捉える</u>などして，豊かに発想し，よさや美しさなどを考え、心豊かで創造的な表現の構想を練ること。</p> <p>など</p> <p>・<u>感性や想像力を働かせ，造形的な特徴などからイメージを捉える</u>などして，自然の中の造形や美術作品などからよさや美しさなどを感じ取り味わったり，生活の中の美術の働きや美術文化を理解したりすること。</p> <p>など</p>	<p>・創造活動の喜び</p> <p>・美術への関心・意欲・態度</p> <p>・感性</p> <p>・<u>形や色彩などによるコミュニケーション</u>を通して、生活や社会の中の美術と主体的に関わる態度</p> <p>・生涯にわたり美術を愛好する心情</p> <p>・美術文化の継承と創造への関心</p> <p>・情操</p> <p>など</p>

下線部は、〔共通事項〕と関連する箇所

小・中・高を通じ、図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸） において、育成すべき資質・能力の整理（検討のたたき台）

	<p>個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)</p>	<p>思考力・判断力・表現力等 教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか)</p>	<p>学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わり よりよい人生を送るか)</p>
<p>高等学校 芸術 (美術)</p>	<p>・造形要素の働きなどについて、創造活動における造形的な視点として深く理解したり、美術作品、文化遺産などについて造形的な視点から<u>表現の特質</u>などを理解したりすること。</p> <p>など</p> <p>・感性や造形感覚などを豊かに働かせ、創造的な美術の表現をするために、意図や自己の捉えたイメージなどに応じて<u>造形要素</u>や<u>材料</u>、<u>用具の特性</u>を生かしたり、表現方法を工夫したりして表すなどの創造的な技能。</p> <p>など</p>	<p>・感性や想像力を豊かに働かせ、<u>造形的な特徴などからイメージを捉える</u>などして、主題を生成し、創造的な表現の構想を練ること。</p> <p>など</p> <p>・感性や想像力を豊かに働かせ、<u>造形的な特徴などからイメージを捉える</u>などして、芸術としての美術や、生活や社会の中の美術の働き、美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わうこと。</p> <p>など</p>	<p>・美術への関心・意欲・態度</p> <p>・感性</p> <p>・<u>形や色彩</u>などによるコミュニケーションを通して、生活や社会の中の美術と主体的に関わる態度</p> <p>・生涯にわたり美術を愛好する心情</p> <p>・美術文化を尊重する態度</p> <p>・情操</p> <p>など</p>

下線部は、表現及び鑑賞に関する能力を育成する上で共通に必要なもの

小・中・高を通じ、図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸） において、育成すべき資質・能力の整理（検討のたたき台）

	<p>個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)</p>	<p>思考力・判断力・表現力等 教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか)</p>	<p>学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わり よりよい人生を送るか)</p>
<p>高等学校 芸術 (工芸)</p>	<p>・造形要素の働きなどについて、創造活動における造形的な視点として深く理解したり、工芸作品、伝統工芸などについて造形的な視点から<u>工芸の特質</u>などを理解したりすること。</p> <p>など</p> <p>・感性や造形感覚などを豊かに働かせ、創造的な工芸の表現をするために、<u>意図</u>や<u>自己の捉えたイメージ</u>などに応じて<u>造形要素</u>や<u>材料</u>、<u>用具の特性</u>を生かしたり、手順や技法などを吟味し創意工夫したりするなどの創造的な技能。</p> <p>など</p>	<p>・感性や想像力を豊かに働かせ、<u>造形的な特徴</u>などから<u>イメージを捉える</u>などして、心豊かな発想をし、用と美、よさや美しさなどを考え制作の構想を練ること。</p> <p>など</p> <p>・感性や想像力を豊かに働かせ、<u>造形的な特徴</u>などから<u>イメージを捉える</u>などして、芸術としての工芸や、生活や社会の中の工芸の働き、工芸の伝統と文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わうこと。</p> <p>など</p>	<p>・工芸への関心・意欲・態度</p> <p>・感性</p> <p>・<u>形や色彩</u>などによるコミュニケーションを通して、生活や社会の中の工芸と主体的にかかわる態度</p> <p>・生涯にわたり工芸を愛好する心情</p> <p>・工芸の伝統と文化を尊重する態度</p> <p>・情操</p> <p>など</p>

下線部は、表現及び鑑賞に関する能力を育成する上で共通に必要なもの

図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）における学習のプロセス（イメージ案）

学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの

- ・つくりだす（創造活動の）喜び
- ・造形（美術、工芸）への関心・意欲・態度
- ・感性
- ・形や色、イメージなどによるコミュニケーションを通して、生活や社会と主体的に関わる態度
- ・情操 など

- ・新しいアイデアなど豊かに発想する能力
- ・発想したことをまとめる構想する能力
- ・自己の意図に応じて情報を主体的に選択して活用する能力
- ・物事を多面的に吟味して見定め創造的に課題を解決する能力 など

- ・造形要素の特徴や材料，用具を自己の意図に応じて活用する能力
- ・見通しをもって計画的に物事を進める能力
- ・意図に応じて新しい表現方法をつくりだすなど創造的に課題を解決する能力 など

発想や構想 をする

自分の表したいこと(主題)を
 考えて見付ける

材料などから表したい
 ことを見付ける

創造的に発想する

自分の表現の意図を
 基に創造的に構想する

形や色，イメージなど， 全ての学習活動に 共通に働く資質・能力

自分の表現の意図に応じて
 創意工夫して
 創造的な技能を働かせる

材料や用具の特性などを
 生かして創造的な
 技能を働かせる

見通しをもって
 技能を働かせる

他者への働きかけ
 他者からの働きかけ
 協働的な学び

言語表現 言語活動

アイデアスケッチ
 などに感じたことや
 考えなどを整理する

話したり
 話し合ったりする

説明し合ったり
 価値意識をもって
 批評し合ったりする

討論や根拠を
 もって批評し合う

作品などの よさや美しさ などを感じ 取り味わう

自分の見方や感じ方を
 大切にして，作品など
 のよさや美しさなどを
 感じ取り味わう

生活や社会の中の
 造形や美術の働き
 について感じ取った
 り理解を深めたりす
 る

美術文化や工芸の伝統
 と文化の理解を深める

創造的な 技能を 働かせる

- ・よさや美しさなどを感じ取り味わい，新しい意味や価値をつくりだす能力
- ・相違や共通性，それぞれのよさに気づき，多様なものの見方や考え方ができる能力
- ・生活や社会の中にある造形や美術，工芸の働きを理解し，豊かに関わる能力
- ・美術文化や工芸の伝統と文化を通して，国際理解を深める能力 など

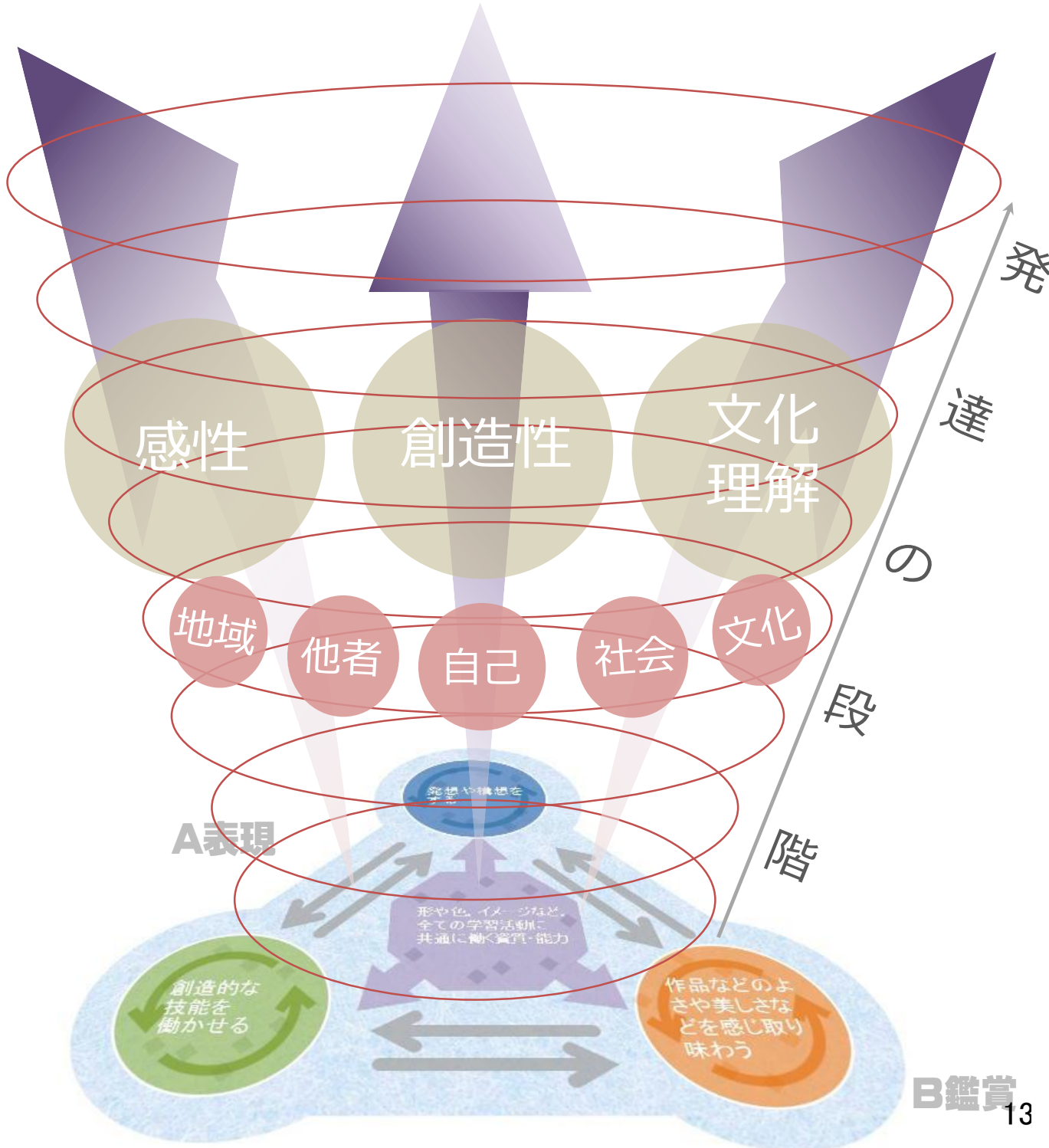
※それぞれの資質・能力の中にある
 ◆は、活動を通して得たり活用
 したりする知識を表す

形や色，材料などを操作したり
 用いたりして思考・判断する

言葉を用いて思考・判断する

形や色、イメージなどの視点を持ち、生活や社会と豊かに関わる資質・能力

豊かな情操



現状と課題

〔 〕内は参考にしたデータ等

感性や想像力等を豊かに働かせて、思考・判断し表現したり鑑賞したりするなどの資質・能力を相互に関連させながら育成することや、主体的で創造的な学習活動の充実が求められている。

- ・表したいことを見付けて絵に表すこと、我が国や諸外国の作品、暮らしの中の作品の表し方の変化、表現の意図や特徴などをとらえることに課題がある。〔平成24年度小学校学習指導要領実施状況調査(国立教育政策研究所)〕
- ・表現と鑑賞に共通して働く資質・能力であるとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を育てるための視点である〔共通事項〕については、一部課題がある。〔平成24年度小学校学習指導要領実施状況調査〕
- ・育成する資質・能力と学習内容との関係の明確化についての各都道府県等の実施状況に関する質問事項において、育むべき資質・能力を意識した授業が見られるようになったなどの成果としての回答が約4割程度にとどまっている反面、約7割が美術の基礎的な能力が相互に関連して高まるような指導に至っていない等の課題を回答している。〔教育課程の編成・実施に関する聴取資料(中学校)〕
- ・表現及び鑑賞の活動自体が目的化するなど、育成する資質・能力と学習内容との関係が曖昧な指導の現状が見受けられる。〔高等学校教育課程研究指定校の取組等より〕

生活を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術文化についての実感的な理解を深め、生活や社会と豊かに関わる態度を育成することが求められている。

- ・親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品の表し方の変化、表現の意図や特徴などをとらえることについては、相当数の児童ができているが、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、暮らしの中の作品については課題がある。〔平成24年度小学校学習指導要領実施状況調査〕
- ・「図画工作の学習が好きだ」という質問に80.3%の児童が肯定的に回答したのに対し、「図画工作を学習すれば、普段の生活や社会に出て役立つ」という質問に肯定的に回答した児童は、60.0%だった。〔平成24年度小学校学習指導要領実施状況調査〕
- ・美術文化の理解を深める学習についての各都道府県等の実施状況に関する質問事項において、約5割が美術文化の継承と創造への関心が高まるような学習に至っていない等の課題を回答している。〔教育課程の編成・実施に関する聴取資料(中学校)〕
- ・美術文化についての理解を深める学習が、単に知識などを学ぶだけにとどまるなど、その価値を尊重し継承しようとする心情や態度の育成に至っていない現状が見受けられる。〔高等学校教育課程研究指定校の取組等より〕

豊かな情操の育成を目指した小・中・高等学校修了時の児童生徒の姿 ～ 図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）で育成すべき資質・能力～（検討のたたき台）

〔 〕内は、本WGの議論に関する教科

高等学校

【芸術科(美術)】

【芸術科(美術)】

【芸術科(美術)】

豊かな感性や生涯にわたり美術を愛好する心情が育っている。
創造的な表現と鑑賞の能力を働かせて、豊かに表現したり、鑑賞したりすることができる。
例えば・・・
・造形要素の働きなどを考え、自己の思いや考えを創造的に表現したり、美術作品などのよさや美しさなどを感じ取り、理解を深めたりすることができる。
・形や色彩などの造形的な視点を明確にし、対象を分析的に捉えたり、根拠をもって批評したりするなどして美術作品などに対する理解を深めることができる。
・形や色彩などのコミュニケーションを通して、創造的な新たな価値をつくりだすことができる。
など
生活や社会の中の美術の働きや、美術文化について、深く理解し、美術文化を尊重している。
例えば・・・
・生活や社会を明るく心豊かにする美術の働きについて考え、理解することができる。
・伝統的かつ創造的な日本の美術文化について理解することができる。
・日本及び諸外国の美術文化についての理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚を高めることができる。 など

【芸術科(工芸)】

【芸術科(工芸)】

【芸術科(工芸)】

豊かな感性や生涯にわたり工芸を愛好する心情が育っている。
創造的な表現と鑑賞の能力を働かせて、豊かに表現したり、鑑賞したりすることができる。
例えば・・・
・造形要素の働きなどを考え、自己の思いや使う人の願いなどを考えて心豊かに表現したり、工芸作品などのよさや美しさなどを感じ取り、理解を深めたりすることができる。
・形や色彩などの造形的な視点を明確にし、対象を分析的に捉えたり、根拠をもって批評したりするなどして工芸作品などに対する理解を深めることができる。
・形や色彩などのコミュニケーションを通して、創造的な新たな価値をつくりだすことができる。
など
生活や社会の中の工芸の働きや、工芸の伝統と文化について、深く理解し、工芸の伝統と文化を尊重している。
例えば・・・
・生活や社会を明るく心豊かにする工芸の働きについて理解することができる。
・伝統的かつ創造的な日本の工芸の伝統と文化について理解することができる。
・日本の工芸の伝統と文化についての理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚を高めることができる。 など

を付した科目のうち、1科目を共通必修教科目とする。

中学校

【美術科】

豊かな感性や美術を愛好する心情が育っている。
美術の基礎的な能力を相互に働かせて、豊かに表現したり鑑賞したりすることができる。
例えば・・・
・形や色彩などのもつ性質や感情などを考え、表したいことを基に表現したり、作品などのよさや美しさなどを感じ取り味わうことができる。
・対象を形や色彩などの視点をもって分析的に捉えたり、自分の価値意識をもって批評したりして作品などの見方や感じ方を深めることができる。
・形や色彩などによるコミュニケーションを通して、自分の中に新しい意味や価値をつくりだすことができる。 など
生活の中の美術の働きや、美術文化について、理解し、美術文化の継承と創造への関心を高めている。
例えば・・・
・生活の中の美術の果たす役割や働きについて理解することができる。
・我が国の美術文化について理解するとともに、諸外国の美術文化との相違と共通性に気付き、美術を通して国際理解を深めることができる。 など

【技術・家庭科(技術分野)】

・材料、加工に関する技術についての基礎的・基本的な知識と技能の習得

小学校

【図画工作科】

感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わっている。
造形的な創造活動の基礎的な能力を相互に働かせて、表現したり鑑賞したりすることができる。
例えば・・・
・形や色などの特徴を捉えながら、造形的な活動を思い付き表現したり、表したいことを絵や立体、工作に表現したりすることができる。
・自分たちの作品や美術作品などから、表現の意図や特徴などを捉え、よさや美しさを感じ取ることができる。
・形や色などによるコミュニケーションを通して、新しい意味や価値をつくりだすことができる。 など
生活の中の造形や、我が国や諸外国の美術作品に親しみ、それらを大切にしている。
例えば・・・
・生活の中の造形などに関心をもっている。
・我が国や諸外国の美術作品、暮らしの中の作品などを鑑賞して、よさや美しさを感じ取り、それらを大切にしている。 など

幼児教育

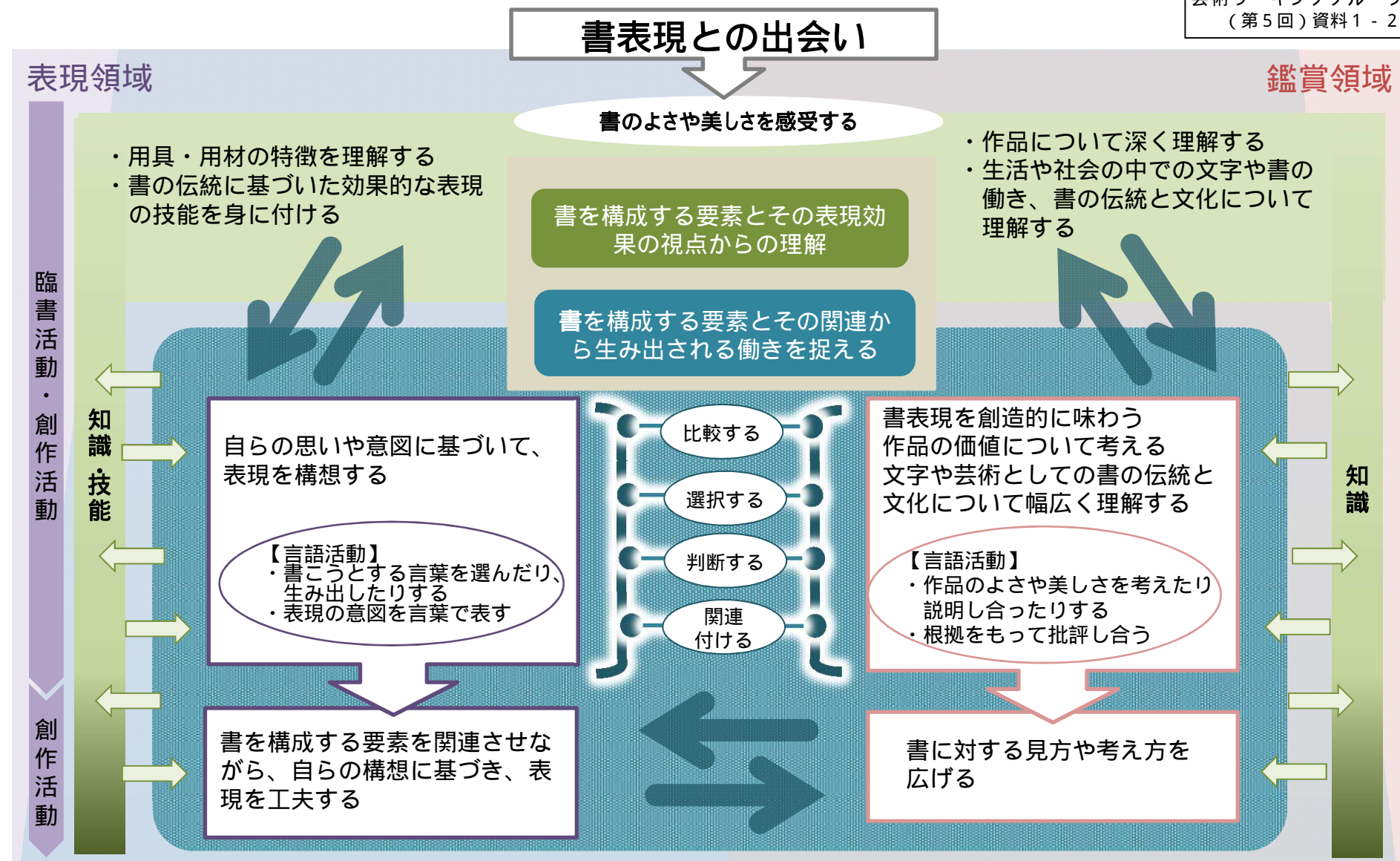
(教育課程部会幼児教育部会において、芸術ワーキンググループでの議論を踏まえ、幼児期に育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の明確化について審議)
・生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにもちながら、楽しく表現する。
・生活や遊びを通して感じたことや考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由にかいたり、つくったり、演じて遊んだりする。
・友達同士で互いに表現し合うことで、様々な表現の面白さに気付いたり、友達と一緒に表現する過程を楽しんだりする。

芸術科（書道）において育成すべき資質・能力の整理 （検討のたたき台）

平成28年2月23日
教育課程部会
芸術ワーキンググループ
（第5回）資料1-1

	<p>個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)</p>	<p>思考力・判断力・表現力等 教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか)</p>	<p>学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わり よりよい人生を送るか)</p>
<p>書道 高等学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書を構成する要素とその表現効果の視点から、作品を深く理解したり、生活や社会の中での文字や書の働き、書の伝統と文化について書の特質に即して理解したりすること など ・感性を働かせて、意図に基づいた創造的な表現を構想し工夫するために、用具・用材の特徴を理解し、書の伝統に基づいた効果的な書表現の技能を身に付けること など 	<ul style="list-style-type: none"> ・書のよさや美しさを感じ、書を構成する要素と<u>その関連から生み出される働きを捉える</u>などして、感性を働かせながら、自らの思いや意図に基づいて作品を構想し、表現を工夫すること など ・書を構成する要素と<u>その関連から生み出される働きを捉える</u>などして、書表現を創造的に味わったり、作品の価値を考えるなどして、文字や芸術としての書の伝統と文化について幅広く理解し、書に対する見方や考え方を広げたりすること など 	<ul style="list-style-type: none"> ・書への関心・意欲・態度 ・感性 ・文字や書の生活や社会の中での働きや効用を考え、主体的に関わる態度 ・生涯にわたり書を愛好する心情 ・書の伝統と文化を尊重する態度 ・情操 など

下線部は、表現及び鑑賞に関する能力を育成する上で共通に必要なもの



豊かな情操、生活や社会における文字や書に豊かに関わる資質・能力の育成

現状と課題

[]内は参考にしたデータ等

書の伝統と文化を踏まえ、生徒が感性を働かせて、表現と鑑賞の相互関連を図りながら能動的に学習を深めていくことが求められている。

- ・表現や鑑賞の創造的な活動において、書の伝統と文化を踏まえ、思考・判断して、表現を構想し工夫していく学習や、根拠をもって確かな言葉で批評し合うことで、書に対する見方や感じ方を広げていく学習に課題がある。【高等学校教育課程研究指定校の取組等より】
- ・育成する資質・能力と学習内容との関係を明確にした授業づくりが十分行われていない等の課題がある。【教育課程の編成・実施に関する聴取資料】

書と生活や社会との関わり、書の伝統と文化の理解を深める学習の充実、書への永続的な愛好心を育むことが求められている。

- ・書の伝統と文化についての理解を深める学習については、単に知識などを学ぶだけにとどまる傾向があり、書の美の歴史的背景や諸文化との関連、また生活と社会との関わりなどに視点をあて、その価値を尊重し継承しようとする心情や態度の育成に至っていない現状が見受けられる。【高等学校教育課程研究指定校の取組等より】

中学校国語科の書写との円滑な連携が求められている。

- ・中学校国語科の書写における文字文化についての認識を形成させる学習を発展させ、書の伝統と文化についての理解を深める鑑賞を中心とする学習が十分に行われていない等の課題がある。【教育課程の編成・実施に関する聴取資料】

豊かな情操の育成を目指した小・中・高等学校修了時の児童生徒の姿 ～芸術科（書道）で育成すべき資質・能力～（検討のたたき台）

〔〕内は、本WGの議論に関する教科

高等学校

〔芸術科（書道）〕

〔芸術科（書道）〕

〔芸術科（書道）〕

豊かな感性や生涯にわたり書を愛好する心情が育っている。
創造的な表現と鑑賞の能力を働かせて、豊かに表現したり、鑑賞したりすることができる。
 例えば・・・
 ・確かな書写能力を基盤としながら、多彩な美へと発展させ、豊かに表現することができる。
 ・書表現の諸要素を感受し、自らの意図に基づいて構想し工夫して表現したり、作品のよさや美しさを感じ取り、理解を深めたりすることができる。
 ・書の表現効果を味わい、そのよさや価値などについて根拠をもって批評し合うなどして、書に対する理解を深めることができる。
 ・書の活動を通して、書に対する見方や考え方を広げたり、新たな価値を見出したりすることができる。
生活や社会の中での文字や書の働きや、書の伝統と文化について深く理解し、書の伝統と文化を尊重している。
 例えば・・・
 ・生活や社会における文字や書の効用を理解することができる。
 ・書の伝統と文化の広がりやそれが生み出されてきた歴史的背景について理解することができる。
 ・日本の書の美に対する感性や価値を理解することができる。

など

など

〔国語科（必修修科目）〕

「現代の国語」（仮称）

・実社会・実生活に生かす内容
 （履歴書等の社会的な文書や通信文などにおいて文字を効果的に書くことなど）

「言語文化」（仮称）

・文字文化への関心を深める内容
 （古典の作品と書体等とのかわりに関心をもつことなど）

を付した科目のうち、1科目を共通必修科目とする。

中学校

〔国語科（書写）〕

文字を正しく整えて速く書くことができる。
書写能力を社会生活に生かすとともに、文字文化について理解することができる。

例えば・・・
 ・社会生活における用途や目的に応じて、文字の伝達性や表現性などを考えながら効果的に書くことができる。
 ・文字文化について関心をもち、その多様性や表現の豊かさについて理解することができる。

など

小学校

〔国語科（書写）〕

文字を正しく整えて書くことができる。
書写能力を日常生活や学習活動に生かすとともに、手書きの意義や文字の由来について理解することができる。

例えば・・・
 ・文字を構成する点画の形状や相互関係、文字の形や配列に注意しながら書くことができる。
 ・日常生活や学習活動において、目的や場面に応じて文字を書くことができる。
 ・手書きすることの意義、漢字や仮名の由来や特質について理解することができる。

など

幼児教育

（教育課程部会幼児教育部会において、芸術ワーキンググループでの議論を踏まえ、幼児期に育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の明確化について審議）
 ・イメージや考えを言葉で表現しながら、遊びを通して文字の意味や役割を認識したり、記号としての文字を獲得する必要性を理解したりし、必要に応じて具体的な物と対応させて、文字を読んだり、書いたりする。
 ・絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像をする楽しさを味わうことを通して、その言葉のもつ意味の面白さを感じたり、その想像の世界を友達と共有し、言葉による表現を楽しんだりする。
 ・生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにもちながら、楽しく表現する。
 ・生活や遊びを通して感じたことや考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由にかいたり、つくったり、演じて遊んだりする。
 ・友達同士で互いに表現し合うことで、様々な表現の面白さに気付いたり、友達と一緒に表現する過程を楽しんだりする。